

JANOG32ミーティング アンケート結果

JANOG32ミーティング実行委員会

2013/8

JANOG32ミーティング 概要

- 開催日程

チュートリアル: 2013/7/3 (水)

本会議/懇親会 : 2013/7/4(木)~5(金)

- 出席者数

本会議: 545名 (2日間延べ人数)

懇親会: およそ340名

チュートリアル: 22名(現地) 24名(WebEx)

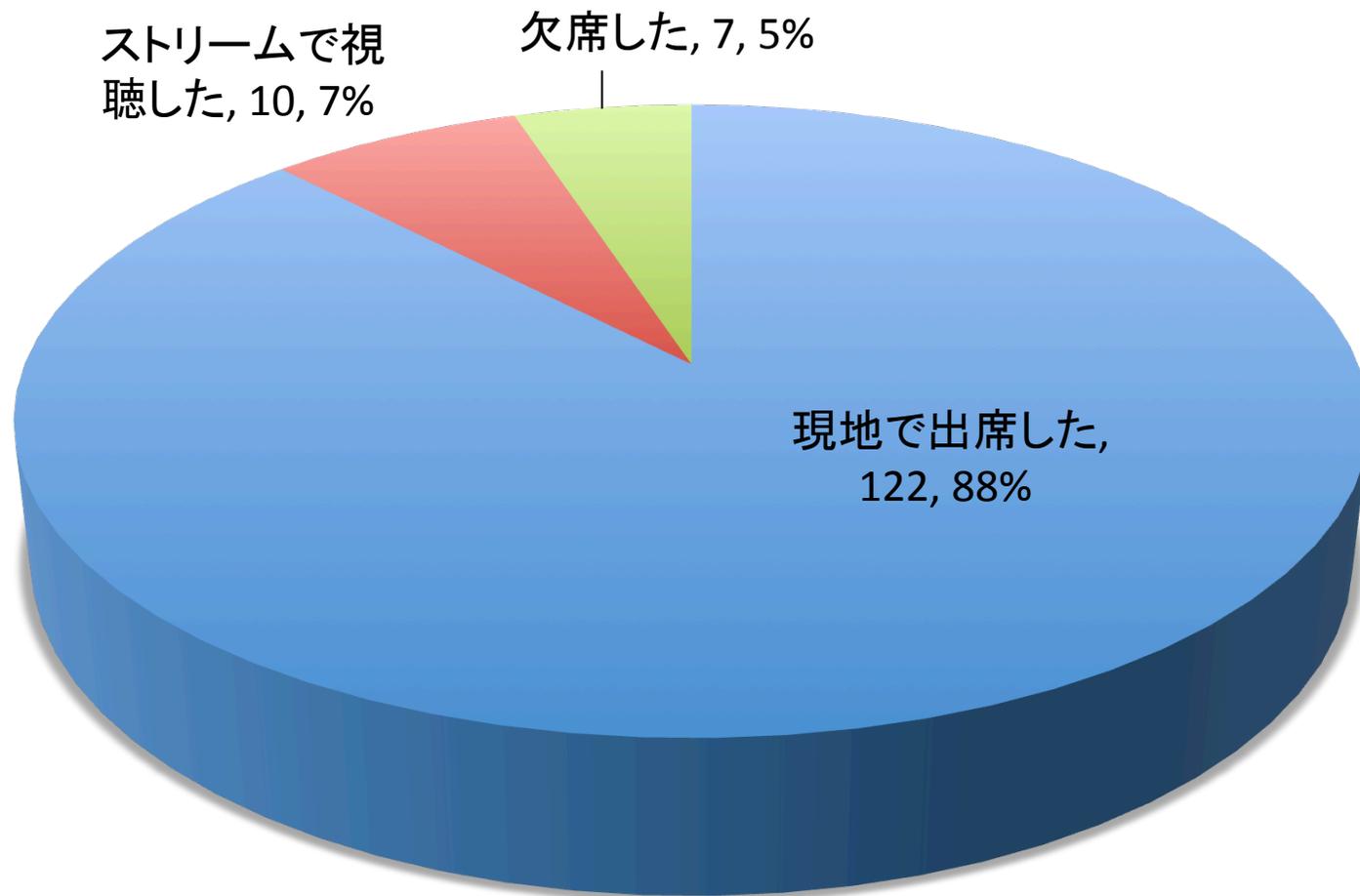
オリエンテーション: 74名

JANOG32ミーティング 概要

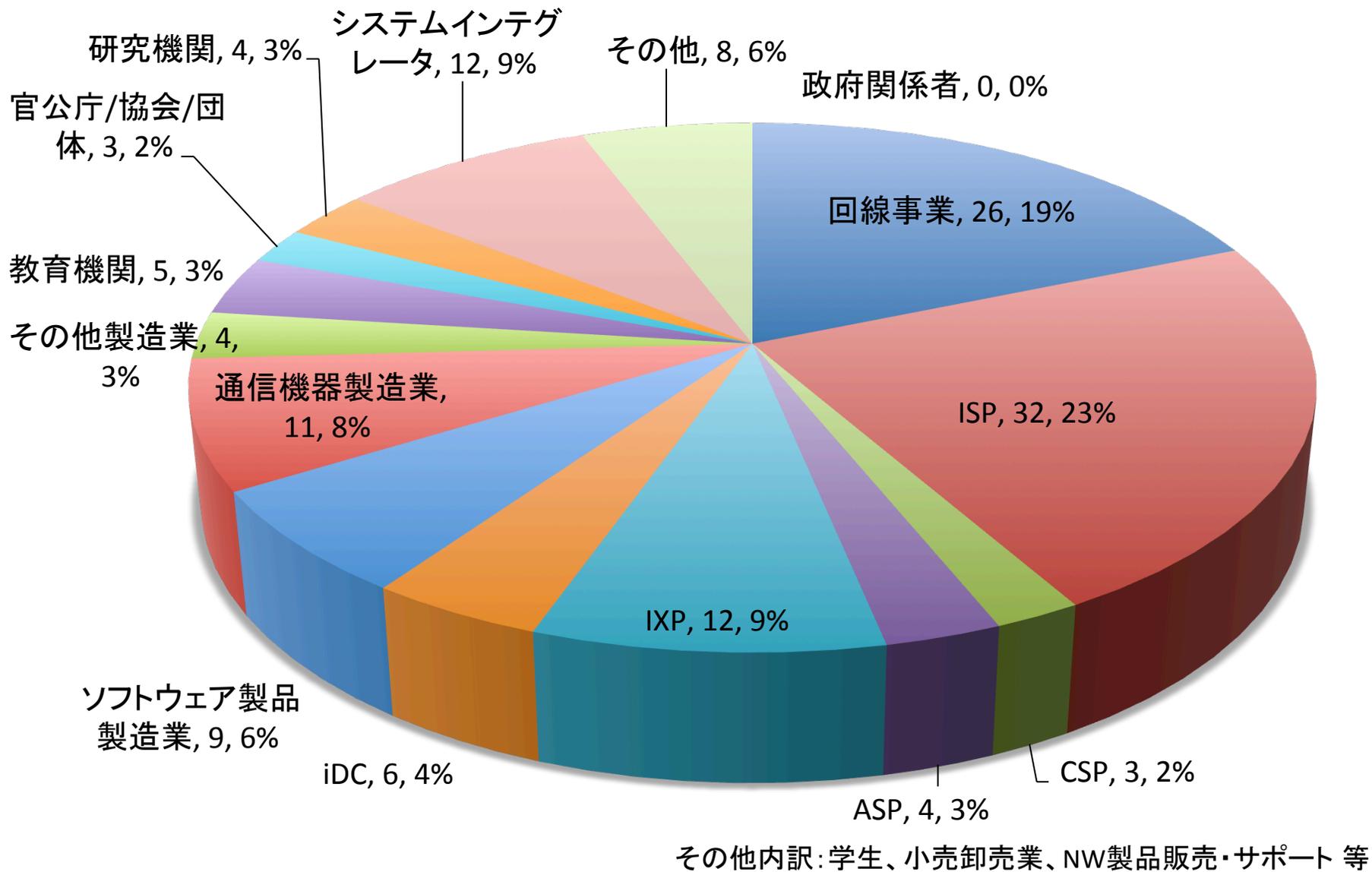
- ストリーム中継 最大視聴者数
7/4:280名 7/5:208名
- Wifi最大同時接続数
およそ 440
- アンケート
実施期間:2013/7/4(木)~17(水)
有効回答者数:139
 - グラフ凡例の注釈は、「回答内容, 回答者数, 全回答者数に占める割合」の順で記載しています。
 - フリーフォーマットの回答は、いただいたご意見を抜粋して掲載しています。

アンケート回答者

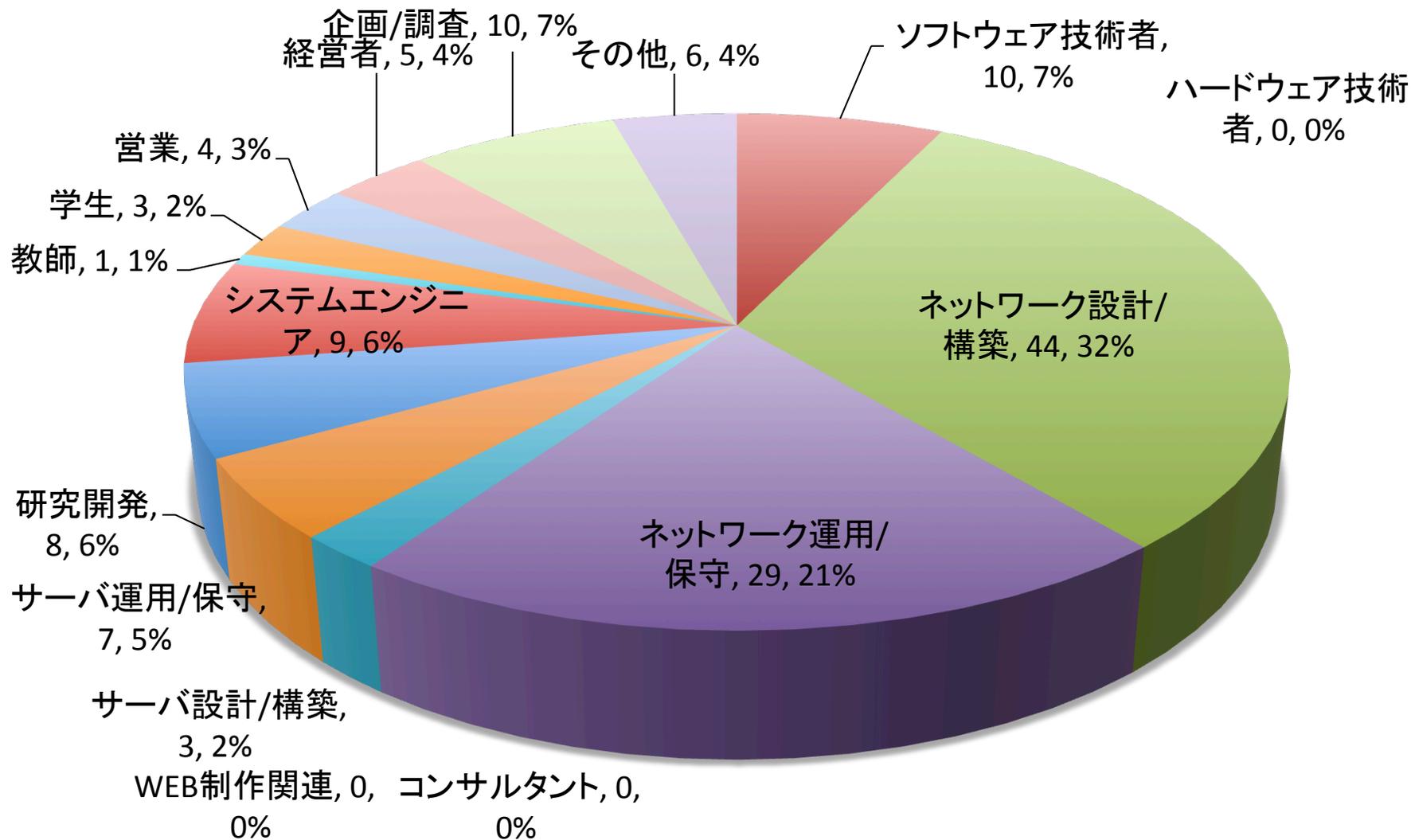
Q1. 出席状況



Q2. 回答者業種



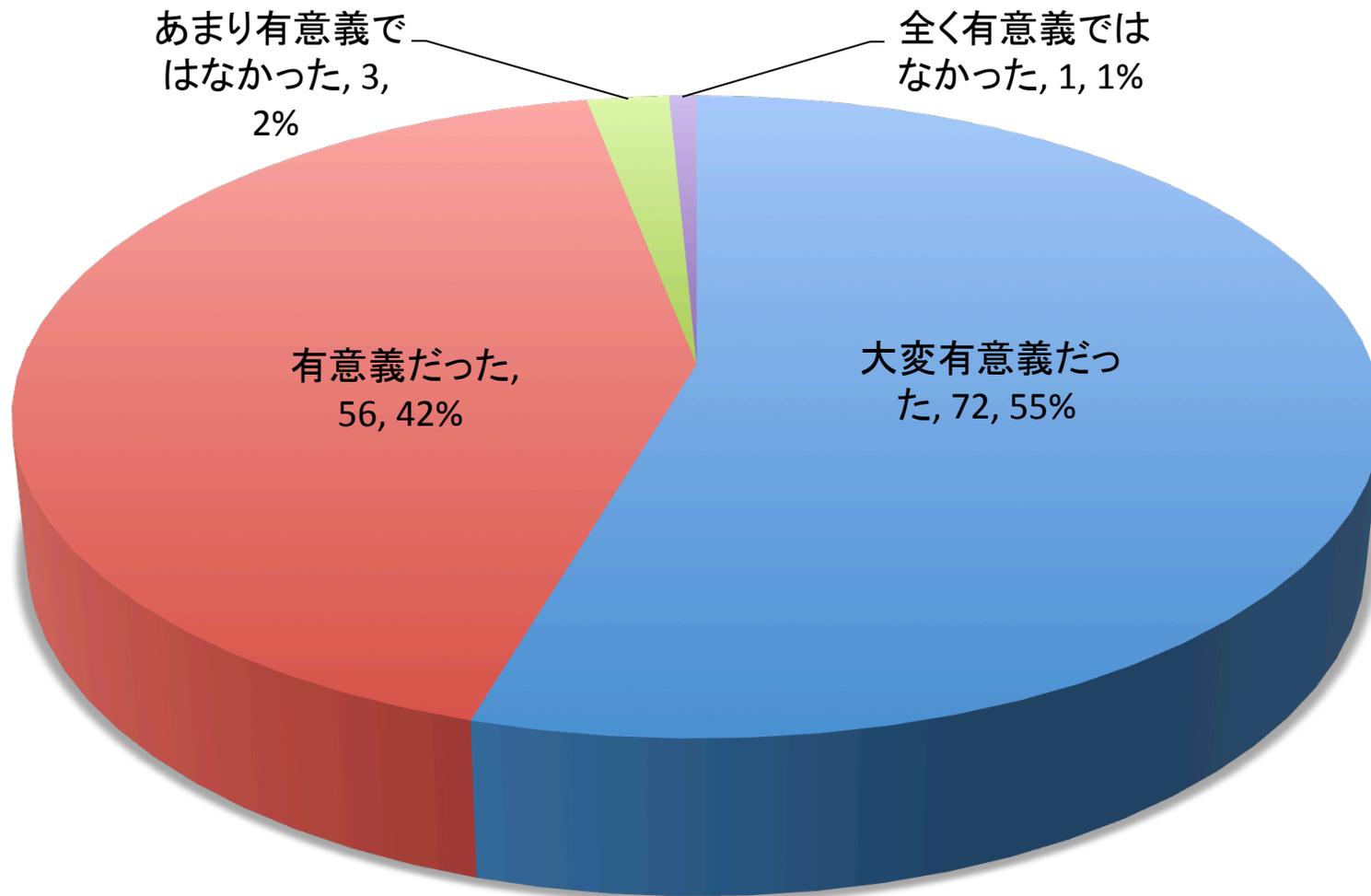
Q3. 回答者職種



その他内訳: ユーザサポート、サービス開発等

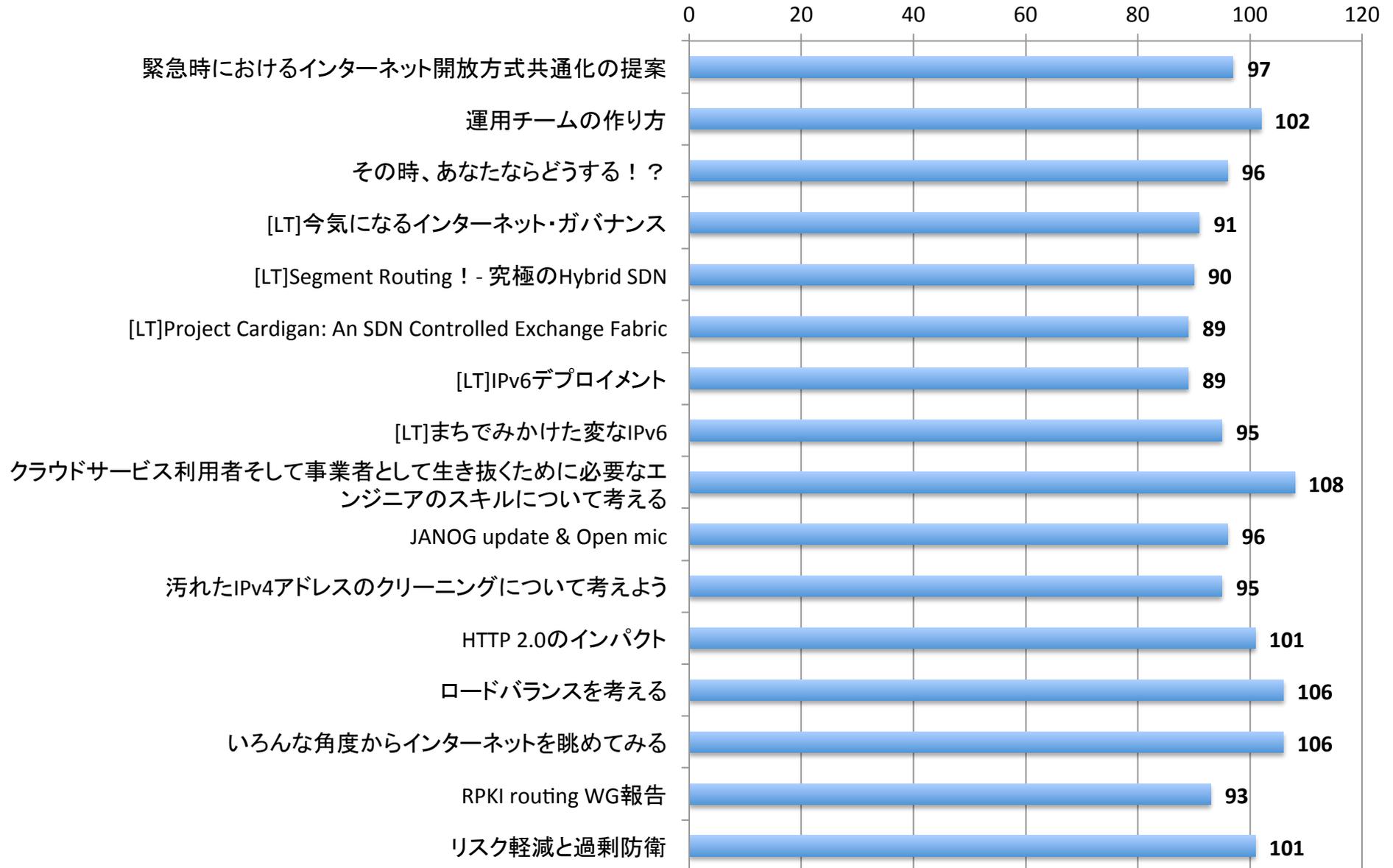
プログラム

Q4. ミーティング全体を通しての感想



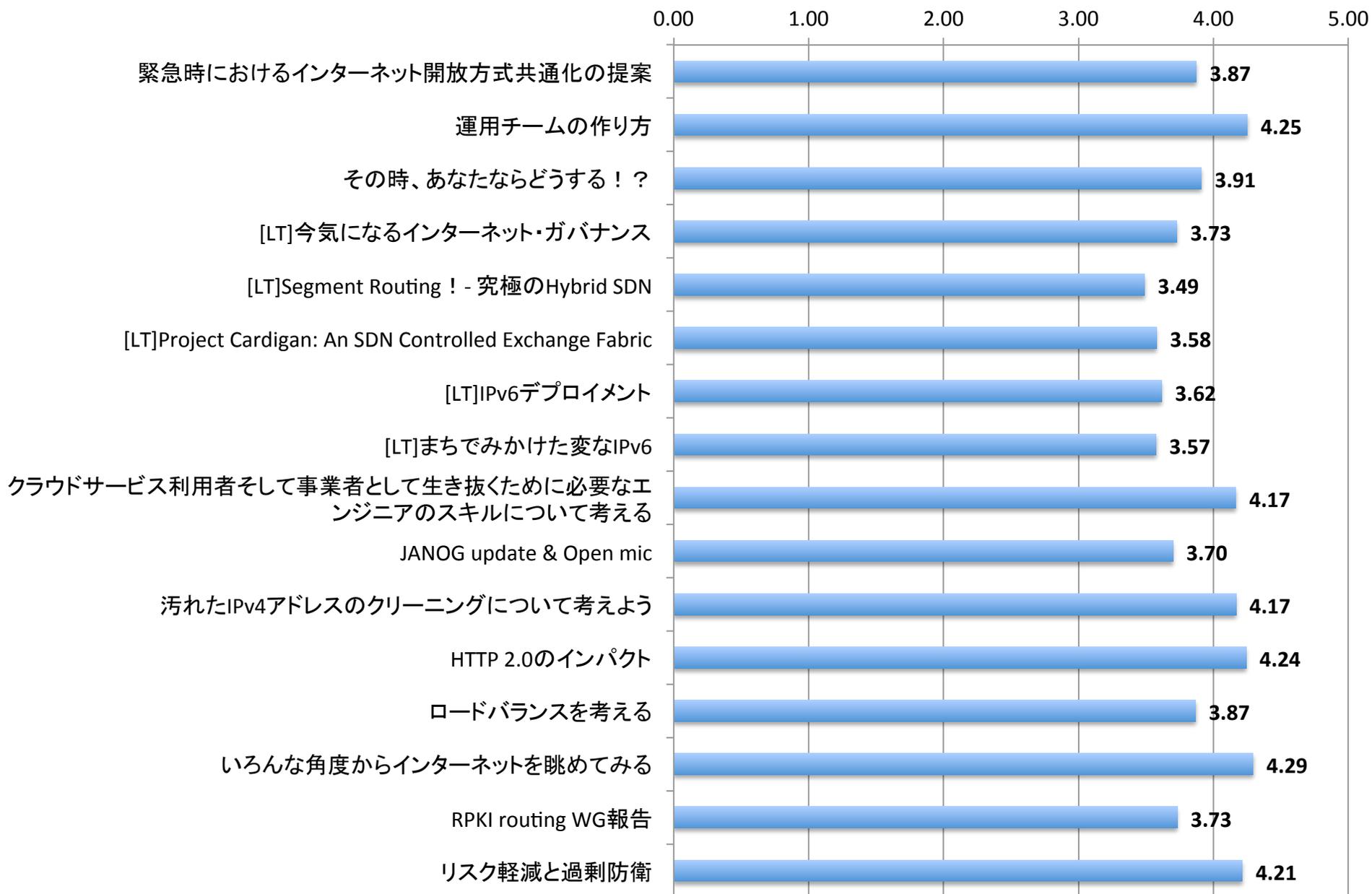
Q5. 出席・視聴プログラム(単位: 人)

出席者/ストリーム参加者: 出席または視聴したプログラム 欠席者: 出席しなかったプログラム



Q5-2. プログラム評価(5: 良い ~ 1: 悪い)

出席者/ストリーム参加者のみ回答



Q5. 各プログラムへの感想および意見 JANOGで議論したい内容

全体を通しての感想・意見

- 初参加だったが、トピックの幅が広く、見識を広げることができてよかった。
- 全て、「あ！聞きたかった！」って思えるプログラムばかりで、本当にためになりましたし、色んな意見を聞いて、すごく参考になりました。参加して良かったです。
- 議論が中心のセッションが増えてきて会場に来る価値が上がっている。
- 全体的に運用に関する話が多くて、オペレーターの集まりの感じがすごくしてよかったです。
- 今回のプログラムはすごくバランスが良かったと感じました。
- ガッツリ技術というのが少なかった印象です。もうちょっと多くても良いかなと思いました。参加する層の幅が広がってきたのなら、一部を複数トラックにするというのもアリかも。
- Technicalに「こういうの困ってたんだけどこう解決した」みたいな具体的な話が少なくて、逆にどう運用するかみたいな抽象的な話が多かったような気がした。JANOGとしてどちらの方向に行くのかは考えないといけないと思う。
- 今回は技術バリバリ的なネタが少なめだったのかなと思います。

Q5. 各プログラムへの感想および意見 JANOGで議論したい内容

全体を通しての感想・意見

- 初日のプログラムが少し残念な感じでした。JANOGの本会議で話すのには相応しく無いような話題に思えました。また、以前はわからない人のことは気にせずに、自分達が聞きたい・議論したい内容を取り上げていたかと思うのですが、少し出席者に気を使い過ぎているように感じました。
- プログラムのタイトルから何を議論するのか分かりづらく、当日まで興味を持ってない物がいくつかあった。
- ストリーミング非公開のセッション・コメントが非常に有意義でした。やはりJANOGは現地についてなんぼのものだと思います。
- 講演者はいいのだが、コメントが内輪受け的な発言が多く残念。

Q5. 各プログラムへの感想および意見 JANOGで議論したい内容

各プログラムへの感想・意見

- 国際化の議論は興味深かった。今後も引き続きあると良いと思う。
- 「いろいろな角度からインターネットを眺めてみる」のプログラムが一番印象に残っています。登壇者の方々自身が、異なる立場で業務をされているという事もあり、オーディエンス側も自分の立場に置き換えて多面的に考えることが出来ると感じました。通常のプログラムでは、プログラム後の質疑応答によって、ようやく議論が多面的に活性化するという印象です。
- 「緊急時におけるインターネット開放方式共通化の提案」は非常に興味深いプレゼンだったが、より技術的な視点からの話もきいてみたい。
- 「運用チームの作り方」のように、決して技術的な話ではないが、みんなが困っているような話題についての話をもっと聞けると個人的にはありがたい。
- 「運用チームの作り方」が、今までもやもやしていた問題会へのアプローチを例示してくれて、非常～にためになった。
- 「ロードバランスを考える」のようなアプリケーションレイヤー寄りのセッションは良かったです。こういったセッションを今後も含めていただければと思います。

Q5. 各プログラムへの感想および意見 JANOGで議論したい内容

各プログラムへの感想・意見

- ライトニングトークが時間の少ないわりには情報量が多いセッションが多かったため、少し分かりづらかったです。
- 「クラウドサービス利用者そして事業者として生き抜くために必要なエンジニアのスキルについて考える」のプログラムは、利用者と事業者を分けたら、もっとポイントが絞られて良かったかもしれません。
- 「クラウドサービス利用者そして事業者として生き抜くために・・・」皆様の発表がとても、心を打たれました このような話を次回も続けてほしい。
- 「RPKI」は難しくて理解ができなかった部分がありましたが、それはそれで興味がわいたのでよかったのかな、と思いました。

Q5. 各プログラムへの感想および意見 JANOGで議論したい内容

JANOGで議論したい内容

- モバイル関係の話
- 実際に運用されている(されるであろう)ルーティング制御最新動向について議論し合い、今後求められているルーティング技術について共有し合いたい。
- 運用監視系、オンプレミス・プライベートクラウドからパブリッククラウドへの接続、上位レイヤーのネットワーク技術(CDN、Web高速化)に関する情報が欲しい。
- 以前に議題?に上がっているかどうか判らないのですが 機器を稼働させる根本的な部分、電気に関して議論してもよいかと感じました。全体的には有意義なミーティングだったと思います。
- BCP38やインバウンドの53番ポートのブロックについて。DNS amplに対してはそれがもっとも効果的であり、DNSSECの適用によりそれが更に顕著になると考えられるため。
- Layer1系の話も聞いてみたい。
- L1-L3+Ops だけじゃなくてL4-L7あたりまで含めたシステムアーキテクチャみたいな話があっても面白いと思う。
- 新技術紹介などテクニカルな話の分量を増やしてもよいと思いました。

全体を通して

Q7. JANOG32ミーティングの情報発信 (ML/WEB/Twitter/Facebook/参考資料/IRC チャット/NW統計情報)

- 予習にもなるので、参考資料等を事前に公開していただけるのは助かります。
- 技術的に不明な点も多いので、キーワード解説等に資料をご準備いただくのは、大変助かります。特に、議題の中核になるような用語に関しては、今後も是非お願いできればと思います。
- 事前資料、参考資料は、事前に予習できるので、とてもよい試みだと思いました。
- キーワード解説の参考資料はいいと思いますが、どこにあるのでしょうか。
- Twitterなどは、スルーした会話を確認できるので良い。参考資料も良い。
- Facebookアカウントをあえて持っていない人間にも、事前アンケートに参加できるようにしてください。
- FBでのアンケートの呼びかけについては良かったと思う。私は基本、MLとFBのみですが、今回FBでの投稿が少なかった様に思います。前回位の情報発信があるとありがたいです。

Q7. JANOG32ミーティングの情報発信 (ML/WEB/Twitter/Facebook/参考資料/IRC チャット/NW統計情報)

- 事前にどういう手段でコミュニケーションするか周知されていれば、もっと利用が盛んだったのではと思う。
- IRCは結局古参で埋め尽くされてしまった。もっと若者が参加しやすいように工夫する手段を検討して欲しい。
- IRCは狙いは良かったですが活用しきれなかったかなという印象です。次回に期待です。
- NWのトラフィック状況が見えるのは楽しかった。
- 会場NWの統計情報が視覚的に見れて大変良かった。また、ネットワークツールの参考にもなりました。
- weathermap というツールがある事を知るきっかけになって、よかったです。
- Ustream 録画を公開して頂いた英断は素晴らしいのですが、できれば事後資料がそろってから復習として見たいような。
- ストリーミングのアーカイブ公開は2週間くらいは必要。
- スタッフの負担にならない範囲で続けていってほしい

Q8. 良かった点、これからも続けてほしい点

- 各プログラム、議論の時間がたっぷり取られてたと思います。おかげで本来のJANOGらしい雰囲気に戻ってきたかなと思います。次回もそんな感じをお願いします！
- とにかくすごい熱量だと思います。頑張っていていきたいですね。DNSな人との交流以外にもなんとか、モバイルな人たちを巻き込めると時代に合わせて変化している感が出ていいかもしれません。
- 技術の側面と運用の側面が同時に聞けるのがJANOGの素晴らしいところだと感じました。今後も可能な限り参加させていただきたいと思います。
- 会場で会話しようという雰囲気が良かったです。中継や録画は有意義ですが、個人的にはそのために会場で言いたいことは言えなくなるので録画は限定的にして欲しいです。会場NWは最初のトラブル以降は快適でした。尽力頂いたスタッフの皆さんありがとうございました。
- 説明が解りやすい。発表者の方々のセンスがとても良いと思った。
- 通らなかったトピックの開示が良かった。
- 中立な立場。オープンマイク。

Q8. 良かった点、これからも続けてほしい点

- USTアーカイブの公開期間延長など、ある程度柔軟に対応していただける体制は素晴らしいです。
- 今回初めてストリーム視聴を利用しましたが、どうしても参加出来ない場合はとても有難いサービスだと思います。諸々の配慮等が大変だとは思いますが、是非続けて頂きたいと思います。
- スタッフランチ企画は良いと思います。
- 一人参加の方への合同昼食？のお誘いは良い試みと思いました。お菓子とコーヒーと毎度のアナウンスで展示会場へ誘導するのも、スポンサーあつてのjanogということで、大変良かったと思います。
- 参加回数の少ない人でも、出席しやすいようにオリエンテーションや昼食での集まり等を企画いただいたこと。参加者同士でコミュニケーションを取れる場面は、今後も考慮いただければと思います。
- 会場運営はいつもスムーズだと思います。
- 進行もスムーズで休憩スペースなども用意されており、とても良かったです。

Q8. 良かった点、これからも続けてほしい点

- ネットワークの繋がりにくさもすぐに対処できて、素晴らしかったと思う。
- 会場NWは、毎度ありがたいです。安定していればなお良いと思いました。
- コーヒーサービス。無線LANなど、諸情報がわかりやすくなっていた点、トラフィックの状態が見れるなど、そういった情報がとても良かった。
- IRC、twitterログの公開は便利だった。メモをとることに気を取られずに話を聞いたので。
- SNSを利用して、直接聞くだけでなく文字で後追いできる点ありがたい。
- 電源の提供、会場およびホワイエの無線LANの提供、珈琲の提供、参加費無料、広い会場、質疑時間の確保。
- 懇親会が発表ごとにテーブルが分かれてるのは良かったです。この他、もっと広義のテーマでテーブル分かれても面白いかもと思いました。ISPの悩み相談とか...
- 大阪でもたくさん人が集まったので、次の地方開催は、ぜひ九州で！（と
思ってたなら、janog33は大分なのですね、行きたいです！）

Q9. 悪かった点、改善に向けての提言

- 開催日が2日と短いため、議論が尻切れになることが多いように見えたため、3日の延長を考えた方がよい。dnsopsやJPOPMと併催して1週間というのも悪くないです。
- プログラム委員のあり方が変わりましたが、前回と比較して何が違って、何が良くなったのかわかりません。むしろテーマが分散し過ぎた上に各々のプログラム内容もJANOGで発表することの意義が不明なもの(運用チームの作り方等)も多かった気がします。Interimがあることでプログラムが分散し、採用されるプログラムの質が低下している側面もあるのではないのでしょうか。3割刺さるプログラムという点では確かにその通りですが...
- LTの最後に全LTを対象とした質疑の時間が少しでもあるとよいと思いました。
- 昨今のSDNの盛り上がりもあり、JANOGも高レイヤの話が増えてきたことは良いことだと思いますが、1プログラムくらいはL1-2の話があったほうが嬉しいですね。

Q9. 悪かった点、改善に向けての提言

- 内輪ネタはやめてほしい。
- 会場で質問コーナーで話の長い人や話題がずれていく人が見受けられました。司会者殿のほうで適宜打ち切ってもらうのがよいかと思いました。
- (良さと言えば良さなのですが)ステージ上の人とマイクに立った人の、普段の関係の近さが見えてしまうと、逆に近くない人がマイクに立ちにくいような気がしました。
- 発言者が偏る。完全な寄り合い体制。以前から沢山参加している方が偉いという雰囲気。
- 全体的に盛り上がった良い会議でしたが、マイク前で発言される方の中で「自己紹介しない方」が目立ちました。Ustream 参加の方のためにも 発言時に自己紹介して頂きたいと感じます。
- 登壇発表者のマイクの持ち方の近い遠いでかなり音声が聞きづらいことがありました。特に近くに持っていて笑い声が入るときに耳障りな印象を持ちました。

Q9. 悪かった点、改善に向けての提言

- 国際化対応。海外からの参加者の放置プレイはとても見ていて気の毒な感じでした。せっかく日本まで来ていただいたのですから、資料の英語化、通訳による日英通訳は行うべきだと思います。会費を徴収してでも国際化を真面目に行わないとガラパゴスNOCになってしまうように感じました。
- twitter 禁止/すぐに忘れろ等の時間は、サブスクリーンみたいなところにその旨表示されているとわかりやすくて助かります。頻繁に切り替わったので、聞いた話のどれが禁止だったかは最早わからなくなっています....
- 大変なのは重々承知ですが、会場ネットワークがもう少し安定すると良かったと思います。
- ネットワークが非常に遅かった理由が気になる。原因追求した結果を公開をして欲しい。
- ポケットwifiなどが乱立していたことです。でも司会がうまいフォローを入れてくれていたためよかったと思います。

Q9. 悪かった点、改善に向けての提言

- 展示スペースが狭く、近寄りにくい感じだった。
- 協賛各社の展示ブースは、休憩時間はとても混雑するので、あまり足が向かない。捨てプログラムを決めて空き時間を作らなければならず、少し残念。
- やっぱり電源席が欲しい...(会場によるので難しいというの理解しますが。) 充電スペースはありましたが、会社支給PCだと、充電して放置しておくというのも難しいので。